

学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

医科学専攻では、以下の指針をもとに、学生が修得した知識、技能並びに態度を多面的に評価するとともに、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに則して、カリキュラムや教育内容が適切に構成され、効果的な教育方法等によって実行されているかを検証します。

1. 評価の内容

講義科目や演習科目では、知識とその応用力を評価します。実験・実習科目では、技能、態度、コミュニケーション能力等についても評価します。

2. 成績評価および単位認定の基準について

単位認定は、授業担当の教員が課す口頭試問、筆記試験、レポート等の結果に基づいて行います。なお、試験およびレポートについて、やむを得ない事情を除き、無断で欠席した場合や提出しなかった場合は、不合格として扱われます。

成績の評価は、A、B、C、Dで表記され、A、B、Cが合格となり、Dは不合格となります。また、評価の基準は、以下のとおりとなります。

- A…修得した高度の専門的学識及び能力を相互に関連付けて応用できる
- B…高度の専門的学識及び能力を修得している
- C…最低限必要な高度の専門的学識及び能力を修得している
- D…最低限必要な高度の専門的学識及び能力を修得していない

3. 情報の開示

科目および個々の試験にかかる成績評価について、学生からの照会に応じる体制を整備します。また、修了の要件の詳細は別に定めて明示します。

4. 点検と改善

評価方法の選定と基準の設定にあたっては、その妥当性、客観性ならびに実現可能性を考慮し、学務委員会にて定期的に見直しを行います。

学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

医学専攻では、以下の指針をもとに、学生が修得した知識、技能並びに態度を多面的に評価するとともに、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに則して、カリキュラムや教育内容が適切に構成され、効果的な教育方法等によって実行されているかを検証します。

1. 評価の内容

講義科目や演習科目では、知識とその応用力を評価します。実験・実習科目では、技能、態度、コミュニケーション能力等についても評価します。

2. 成績評価および単位認定の基準について

単位認定は、授業担当の教員が課す口頭試問、筆記試験、レポート等の結果に基づいて行います。

なお、試験およびレポートについて、やむを得ない事情を除き、無断で欠席した場合や提出しなかった場合は、不合格として扱われます。

授業科目の履修成績は、以下の基準により評価します。

合格…修得した高度の専門的学識及び能力を相互に関連付けて応用できる

不合格…最低限必要な高度の専門的学識及び能力を修得していない

3. 情報の開示

科目および個々の試験にかかる成績評価について、学生からの照会に応じる体制を整備します。また、修了の要件の詳細は別に定めて明示します。

4. 点検と改善

評価方法の選定と基準の設定にあたっては、その妥当性、客観性ならびに実現可能性を考慮し、学務委員会にて定期的に見直しを行います。